

2015/4/20

大会参加チーム各位

大会運営協力をお願い

さいたま市バスケットボール協会
総務財務委員長

いよいよ新年度の大会が始まります。

大会運営は、受益者である大会参加チームが相互に協力し合って成り立っていることは、じゅうぶんご理解をいただいているところですが、今期はとくに、はじめて登録したチームが多いので、あらためて大会運営上の基本的なお願いごとをお知らせいたします。

各チームの代表者の方は必ずチーム全員に周知徹底してください。

1. 時間厳守

本協会はチーム数が多く、期日や会場数が限られたなかで、部門間の入れ替えも含めて相当数の試合を計画しています。そのため、開始時間、終了時間を厳守することが極めて重要ですので、以下のように各チームの役割を決めています。

原則として、試合当日の朝は各チームが協力して会場を設営します。

第一試合のチームは、それぞれが最初に攻めるバスケットのリングの設置をしてください。第二、第三試合のチームはそれぞれ、床面保護シートの敷設、ベンチ席、モップ席、24秒表示板、T O設備類の準備をしてください。

これに先立ち、本部席にて点呼をとりますので、決められた時刻には必ず集合してください。

自チームの試合の前の試合のハーフタイムには、スコアシートにチーム名、出場予定選手リスト、コーチ名を記入しておいてください。記入用のテーブルが用意してありますので、そこで必ず記入してください。その後本部席において、スコアシートの選手名と、協会登録選手名の照合をしますので、時間を守ってください。

最終試合のあとは、試合チームとT O、モップのチームは、設備の撤収をしてください。その後の体育館の利用予定によってリングの片付けが不要の場合がありますが、そのときには本部席からの指示がありますので、それにしたがってください。

最近、これらの役務を履行しないチームがあり、いくつかの内部通報を受けています。その場合には、チームペナルティとして、原則として次回の試合からの出場もしくは登録をご遠慮いただく措置をとっています。

2. 運営協力

前項と同様の理由で、各チームには、いくつかのお願いをしています。

やむなく棄権する場合には、必ず協会事務局に連絡してください。

棄権チームが出た場合にも、その後のTO、審判の割り当てに大きな影響がないように、役割分担表をホームページに掲示していますので、注意してください。

なお、棄権試合の後続の試合を繰り上げることもありますので、各チームは繰り上げに備えるほか、代表者は連絡を受ける準備をしておいてください。

また、競技役員チームという制度によって、大会運営をスムーズにしています。試合時間のタイムキーパー、会場設備の保全・清掃、スコアシートの回収とホームページ掲示用の試合結果入力票・勝ち上がり結果の記入等々、各チームの登録順の当番制になっていますので、ご協力をお願いいたします。

3. 館内利用上の注意

いまの体育館は指定管理者という民間の管理下であり、館内の使用ルールの順守に対しては厳しい要求があります。これを守れない場合には会場利用ができなくなり、本協会の事業活動そのものが不可能になります。すでにイエローカードを受けている会場もあり、ひとつのチームの不適切な行動が協会ならびに 100 チームを超える登録チーム・登録選手への迷惑となりますので、ご注意ください。

ただしルールといっても以下のような社会常識レベルなので、それほど難しいことはありません。

- ・喫煙は指定場所で行います
- ・館内は土足厳禁です
- ・ゴミは持ち帰ってください（当日のチーム点呼の際にゴミ袋を受け取ってください）
- ・ボールの使用はアリーナ限りとし、他所でドリブル・壁パスなどはしないでください
- ・コンセントは私用禁止です

最近、自販機で売っていないはずの大型ペットボトルが放置されたままのケースがあります、必ずチームで責任をもって持ち帰ってください。

そのほか、会場ごとに決まりがありますので、それにしがってください。

4. その他ベンチ内・試合中の注意

競技要綱にもあるように、ベンチ内には、選手 15 名、スタッフ 4 名の 19 名までとなっています。当然ながら、他チームの関係者がベンチ入りすることはできません。

アリーナには幼児を入れないでください。どこからボールが飛んでくるかわかりません。ビデオ撮影等はベンチ外で行います。

以上